

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 17
令和元年 9月20日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

○夏休み校内作品展 ～ 夏休み中の力作を一同に展示し開催しました。
保護者、御家族のみなさん、地域のみなさん、たくさん参観いただきありがとうございました。 ～

すっかり、朝晩、涼しくなりました。先週まで、夏休み作品展を開催し、校舎内全体が夏気分で溢れていましたが、今は夏休み中の作品も全て撤収し、各施設の作品展に移動展示しています。夏から秋へです。

町中央公民館・介護施設・きたやま 21日・土から29日・日まで、夏休み作品が展示されています。
こちらにもお出かけ頂き、作品を鑑賞いただければ幸いです。

さて、こうした作品展で毎年感心するのは、子供たちの自由研究の内容です。もちろん、保護者のみなさんの御協力、御支援にも感謝します。自分自身の子供の頃の自由研究を思い出し、そして、教員になってからのたくさんの自由研究を見るにつけ、「自由研究に取り組む」という経験は、間違いなく、「子供にとって自分自身の財産になる、なっている。」と感じます。「何かテーマを決め、自分で（親子で）調べ、それを自分の力で、親子で共同してまとめる学習」は、一種の探究学習の経験を親子で体験できる機会だと思います。

実は今、高校では、「探究学習」が非常に注目され、重要視されています。全国各地で「探究学習」の実践が行われています。言葉を換えて表現すれば、「学びの本質」を追い求める学習が、全国各地の高校で進められています。

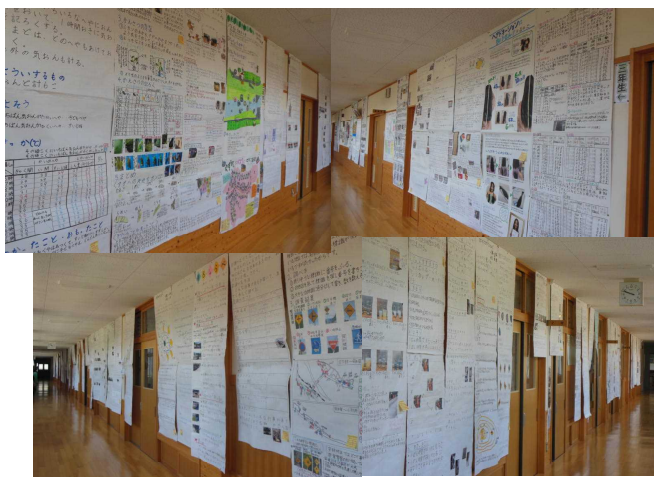
有名な実践校として、京都の堀川高校があります。御存知の方もいるかと思いますが、かつて「堀川の奇跡」と言われた顕著な進学実績を挙げ、今も公立高校では、京都一の進学実績を挙げている高校です。「探究科」を開設し、その第1期生が卒業するとき、「堀川の奇跡」が生まれました。探究科の1期生が卒業した2002年、国公立大学への現役合格者数を前年の6人から106人に増え、地元、京都大学にも前年度0名から6名合格しました。それ以降もこの実績は続いています。この奇跡に関わり、奇跡を継続させたのが、荒瀬克己氏です。1998年から2003年まで教頭先生として、2003年から2012年まで校長先生として15年近く堀川高校をリードしてこられました。以前、八頭郡全教員がお話をお聞きした方で、ユーモアのある楽しい方でした。

堀川高校の「探究科」は、1年生は週3コマ分の授業で、問題解決や議論・スピーチの方法、パソコンソフトの使用法、情報の読み方や研究の仕方などを学びます。まさに、新学習指導要領で今後、必要とされる学びの力を育てる事を、十数年以上前から実践されています。そして、2年生はテーマを決めて半年間の個人研究を行い、研究成果をポスターにまとめて発表する。発表会では発表者がポスターの前に立ち、研究内容に関心を持った他の生徒が自由に質問できるようにしています。自由研究の本格版を実践しています。

こうした学びの体験が、生徒自身の学びに向かう意識を変え、生徒自身が学ぶ意欲を高めることに繋がり、学びの面白さを実感し、それが、進学実績にもつながっていると言えます。そして、こうした堀川高校の探究活動の基本的考え方をまとめたのが、「探究五箇条」です。

①知らないということを知れ、②常識を学べ、③常識を疑え、④手と頭を動かせ、⑤朋と愉しめ
学びの本質をまとめたすてきな言葉だと思います。

夏休みの自由研究は、そんな学びの楽しさ、面白さに出会うことができる貴重な機会だと思います。保護者の皆様には、今後も御理解、御支援をよろしく願います。



1階から3階までの廊下に溢れるほどのたくさんの自由研究の力作を掲示しました。

1階ふれあいルームには、図画工作などを展示しました。



○夏休み自由研究から ～ 社会生活総合優秀作品・理科優秀作品 ～

毎年、夏休みの自由研究の中から、八頭郡小教研の**社会・生活・総合優秀作品**と**理科優秀作品**を校内で選び、表彰しています。今年は、以下の自由研究が優秀作品として、入賞しました。また、自由研究の中で地図を活用した作品もあり、こちらは社会科地図作品の審査会に出品します。理科の自由研究も郡の審査会に出品します。

【入賞者氏名 一覧】

〔社会・生活・総合〕

- 1年・かぶとむしのたたかい 竹内勇都
- 2年・やず町にバスでは何がある!? 大村かりん
リサイクルマークしらべ 山本莉愛
- 3年・私の町の道の駅 吉田心奈
- 4年・海にはどんなごみがある? 中村莉愛
八東駅から茂谷までの橋 坂本ゆりか
- 5年・つながろう! R29で 西田佳夏
- 6年・私のおじいさん 上田藍未
鳥取が大切にしている自然エネルギー
高原匠都



〔理科〕

- 1年・うくものと うかないものしらべ 久保田萌唯
こおりがとける はやさのじっけん 澤田旭斗
- 2年・アゲハ羽化までのかんさつ 中田志和
- 3年・地球を冷やそう!!～うち水のこうかを調べる～
内田陽菜
- 4年・えき体の中に氷を入れたらどこに行く!!
西村琉音
- かげあそび 中村創
- 5年・鏡のくもりを防ぐには? 竹内生樹
- 6年・カップラーメンの研究 竹内嶺介
切っても切ってもプラナリア 藤田陽瑠
ガムを溶かす食材の研究 奥村瑠唯希

○防災訓練(地震)をして思うこと

～ いつ何時、どこで起きるのか分からない地震への備えを～

12日(木)に第3回目の防災訓練を実施しました。日本のどこでも地震は発生します。科学が進歩した今でも、いつ何時、起きるのなかなか予測が難しいのが地震です。どうしても人間、災害にあったときは、危機意識を持ちますが、しばらくするとつい忘れちゃうものです。

先日、**北海道胆振東部地震**の地域についてのある新聞のコラムを読みました。昨年、**9月6日・3時7分に発生した震度7の地震**。この地震の土砂崩れで亡くなった方の水田も、地域のみんなで協力して、今年も同じように、田植えをし、草刈りをし、そして、今稲刈りをしている。みんな地域を復興させようと取り組んでいることに触れたコラムでした。

秋が深まり、八東地域の水田も稲刈りが始まっています。稲刈り風景を見ながら、地震への家庭・地域の備え、そして、いざという時の、地域全体での支え合いの大切さを思います。今一度、各家庭で地震への備えについて考えて見て下さい。「いざという時」どう行動するのか。



○今、各学年が社会科見学や校外学習に出かけています。

～ 実物に触れる学ぶ学習の大切さ ～

日ごとに秋が深まっています。朝晩も涼しくなり、日中の暑さもすっかり和らぎました。勉強に運動に良い季節です。

この時期には各学年が、校外学習に出かけています。1年・2年は生活科の探検、3年は商業施設などの見学、4年は氷ノ山登山と自然学習、5年は県西部への社会科見学、そして、来月になれば、6年生はいよいよ修学旅行。

学校のを離れ、様々な場所に出かけて、事物に触れ、本物に触れ、実体験を通して学びを進めています。各学年からの便りも併せて読んで下さい。



(2年・生活科の探検学習
丹比郵便局・南駐在所)→



また、出かけた先々で各見学場所のみなさんには、御協力いただき、ありがとうございます。今後も、本校教育への御理解、御支援をどうぞよろしくお願いします。

←(5年・社会見学から・境港コンテナヤード)